



夏休みも終わり、未来の選択を

いよいよ高校生活最後の二学期が始まりました。この夏休み、皆さんはどのように過ごしたでしょうか。進路に向けて計画的に取り組めた人もいれば、思うように行動できず、課題を残した人もいるかもしれません。部活動の引退、オープンキャンパスへの参加、面接練習や模試など、それぞれが自分の未来に向き合う時間だったと思います。大切なのは、過ぎた時間を悔やむことなく、今この瞬間からどう動くかです。夏の反省を糧に、ここからの一歩が未来を変える鍵になります。



二学期は、進路実現に向けた本番の時期です。就職希望者は校内模試や面接練習が本格化し、9月中旬には企業試験が控えています。進学希望者は、9月から総合型選抜（AO 入試）が、10月～11月には学校推薦型選抜の出願・入試が続きます。さらに、進学模試も複数回実施され、一般入試に向けた準備も本格化します。まさに「進路の秋」。この時期は、迷っている暇はありません。自分の進路に向けて、明確な目標を持ち、行動に移すことが求められます。

進路は、誰かが決めてくれるものではなく、自分の手でつかみ取るものです。不安や迷いがあるのは当然です。しかし、挑戦する姿勢こそが未来を切り開きます。努力は必ず力になります。今の頑張りが、数ヶ月後の笑顔につながるのです。模試の結果に一喜一憂するのではなく、そこから何を学び、どう改善するかが重要です。面接練習では、言葉だけでなく、表情や姿勢、語尾の安定感など、細かな部分にも意識を向けましょう。進路実現に向けて、今こそ“本気モード”に切り替える時です。

最後にスティーブジョブズの名言で「素晴らしい仕事をする唯一の方法は、自分のやっていることを好きになることだ」という言葉があります。進路はゴールではなく、スタートです。好きなことを見つける旅は、ここから始まる。自分を信じて、情熱を持って、未来へ踏み出しましょう。

